

きらり おばま 人

たかとり
重郷さん (59歳・太良庄)



ていねいな説明の「寧」と自然農法の「ネイチャー」から命名した「寧茶庵」でそば打ちをする高鳥さん

「そば打ち」名人として、平成十九年十二月に「食の達人(＊)」に認定された高鳥さん。

「国富公民館が推薦してくれて認定されましたが、十八年の経験があるというだけで技術的にはまだまだ未熟です。自然農法にこだわっているので「食の安心、安全」という観点から認定されたんですかね」とけんそんします。そば打ちの講師として引つ張りだこの高鳥さん。公民館や小学校、食文化館などに出向いて打ち方を教えています。もちろん、使用するそば粉は所属する生産組合で作ったこだわりのもの

本物のそばのおいしさを知ってほしい

「そば打ちを始めた当初、そばの実をどうやって麺にするかで苦労しました。今と違ってインターネットは普及していなかったため、本を頼りに独学で作っていました。慣れるのに五年ほどかかりましたが、楽しかったですよ。何よりのストレス解消法でした。当時、受験勉強をしていた子どもたちの夜食に最適で、家族にも好評でしたよ」
二十年以上前に福井市で本物のそばと出会い、そのおいしさに感動したという高鳥さん。それまでは、そばをそんなおいしいと感じたことがなかったそうです。そば本来の味をもっと多くの人に知ってもらいたいと自宅に「寧茶庵」という体験と食事のできる施設を開きました。
「自分でそばを打って食べる。それは至福のひとつだと思うんですよ。ここに来て、ゆったりとした気分を味わってもらいたいですね。そばのほか、自家製有機野菜を使った季節の天ぷらもたいへん好評です」と達人は笑顔で話してくれました。
(＊)食の達人とは、食にかかわる人々の優れた技術、知識などを尊び、体験の場で活用することで技術などの普及、後継者の育成を目的として、市が認定している人

●あなたの周りの「きらり輝いている人」「生き生きしている人(グループも歓迎)」を紹介してください。
市長室 広報・広聴グループ ☎53・1111 内線325

ワクワク振興アイデアBOX

●飛鳥区と香取区にまたがる小浜公園駐車場に、いつも同じ車が駐車してあります(何台も)。付近住民のガレージ代わりになっているのではないですか。市が許可をしているのでしょうか。

▼市内の公園駐車場は、公園利用者のためのものであり、市が許可をして個人に貸している駐車場はありません。

小浜公園駐車場は、「公園利用者以外の駐車禁止」看板を設置して注意を促しているほか、恒常的に駐車している車には、巡回を行ったときに「張り紙」をしています。



小浜公園駐車場 (2月5日)

ワクワク振興アイデアBOXは、市役所一階ロビーと市民サービスコーナーに設置してあります。

しかし、効果は一時的なもので、時間が経過すると無断駐車が増え返されてくるようです。今後は、公園利用者に気持ちよく使っていただけるよう、巡回する回数を増やして管理を強化していくとともに、モラル向上のための啓発活動を行っていきたく考えています。
(都市整備課)

※松崎市長のマニフェストどおり、2月13日、市公式ホームページに「わくわく振興アイデア.com」コーナーを開設しました。「小浜市活性化案」や「市民世論」などをお聴かせください。

山柳

若狭番傘川柳会

吠える海テトラポットに八つ当り
伏原 茶谷 邦雄
吠え立てる犬に玄閑払いされ
奈胡 中島せつ子
約束を果たす新芽が土を割る
奈胡 水野 節子

短歌

口名田短歌会

いつしかに正月過ぎて朝の日の
和らぎし庭の南天鮮やか
上中井 小川 リユ
車より降りてかけくる孫抱きて
この新春を忘れず生きむ
上中井 古谷 智子
吹雪くなか辿りつきたる病室に
夫と安堵のひと刻過ごす
上中井 近者 綾子

俳句

小浜市俳句作家協会

大根の煮くづれて味深み増し
水取三丁目 津田 菊野
北海道からの便りの猫柳
小浜津島 植村富美枝
捨雪の汚れしままに嵩へらし
三分一 小畑 公

〈小浜歌人協会からの訂正〉

広報おばま 一月号掲載の短歌を次のとおり訂正します
夕日落ち路地に立ちあし幼な子は仕事帰りの母に声あぐ
山王前 山本 敏子

広告

広告

広告

広告

広告

広告



●身近な話題をお知らせください！ 市長室 ☎53・1111 内線 325

2/6 新たな御食国大使に山本さん

演歌歌手として活躍されている山本智子^{さとこ}さんを御食国大使として委嘱しました。2月18日、蘇洞門など小浜市の魅力を歌った新曲「若狭恋唄」が発売されたことを機に、本市のPR活動に協力していただくことになりました。4月18日には、蘇洞門開き式典に参加する予定です。今回の委嘱で、御食国大使は93人になりました。



2/1 ジャンボ巻きずし作り

宮川地区の園児と児童、その保護者ら約80人が、長さ20^{メートル}のジャンボ巻きずし作りに挑戦しました。ノリの上に酢飯を敷き、卵焼きやかんぴょうなどの具材を載せていきます。掛け声とともに一斉に巻きすだれを返すと完成です。恵方の東北東を向き、みんなで試食しました。



2/1 第2回おばま検定

小浜市についてどれだけ知っているかを試す「御食国若狭おばま検定」。「自然」「食」「歴史」「文化」など、さまざまな分野から出題された100問に、市内外から74人が挑戦しました。制限時間1時間のため、受検者は時間を気にしながら問題を解いていました。



1/25 子ども会かるた大会

中央公民館で開催された「子ども会かるた大会」。各地区の代表27チームが8リーグに分かれて予選を行ったあと、各リーグ1位で決勝トーナメントを戦いました。選手らは、「わが袖は…」など上の句が詠まれると、瞬時に札を取っていました。結果は次のとおり。①すずしろA②田烏B③田烏A

2/10 オイケモノ神事

国選択無形民俗文化財「オイケモノ神事」が加茂神社（加茂区）で営まれました。1年間地中に埋めた木箱を掘り起こし、その中のドングリやシイなど7種類の種物の芽立ち具合で五穀の豊凶を占う神事で、竹中嘉浩区長が木箱から慎重に種物を取り出し確認。「今年も豊作間違いなし」と判定されると、周りから拍手が起きました。



1/30 こま回し対決

加斗保育園で「祖父母と伝承遊び（こま回し対決）」が行われました。同時に回したこまが、どれだけ長く回っているかで競います。最初は園児どうしで対決。その後、祖父母と年中、年長の園児が対決しました。園児らは何度挑戦しても祖父母には勝てず、最後は、祖父らに手のひらでこまを回す「技」を見せてもらって大喜びでした。

2/3 遠敷保育園で豆まき

節分のこの日、遠敷保育園では園児らが手に豆を持ち、童謡「豆まき」を歌って楽しく過ごしていました。すると突然、窓から青鬼が入ってきました。その恐ろしい姿に大慌てで逃げ出す園児たち…。しかし、保育士の「鬼は外」の掛け声に合わせて、勇気を振り絞って一斉に豆をぶつくと、青鬼はたまらず逃げ出していました。

